

C10・C14・C18、D10・D14・D18 から認定番号が始まる認定者の皆様へ

今年度、「道守」「特定道守」資格更新の対象となる方へのお知らせです。
内容をよく確認いただき、すみやかに手続きをお願いします。

1. 更新手続きのお願い

2010年度・2014年度・2018年度に認定された皆さまは2023年3月31日で期限が切れます。
資格を継続するためには下記の条件を満たすことが必要です。
更新可否の審査がありますので、更新手続き(報告書提出等)の締め切りは 2022年11月1日(火)
までとします。締切を超えての受付はできませんのでご了承ください。

道守・特定道守の更新条件は、下記の【条件1】および【条件2】を両方満たすことが
必要です。

【条件1】 4年間に以下の活動を4件以上「申請」

- (1)長崎県内のインフラ構造物の異常通報（道守ポータルからの通報）
- (2)愛護団体・自治会などによる長崎県内の道路パトロールもしくは清掃活動への参加
※写真・案内書・終了報告などの添付をお願いします。(実施日の日付が入っていること)
※道守養成ユニットの会の各地域での道路パトロール・清掃活動も含む。
- (3)長崎県・長崎県職員OB・道守認定者の合同点検(橋梁、防災・トンネル)、重点維持管理橋梁点
検への参加。または、事前に開催される研修会への参加。
- (4)道守養成講座、インフラ体験学習(工業高校)などにおける講師としての参加
- (5)道守養成ユニットの会(認定者の会)が主催・共催する行事のうち、認定者の継続教育に資する
と認められるもの(現場見学会、技術研修会、講演会、道路パトロールなど)への参加
- (6)維持管理に関する講演会への参加
※プログラムやCPDS証明書など内容がわかり、日付が入った書類の添付をお願いします。

◆【長崎県外の認定者で上記の条件が困難な場合】

維持管理に関する講習会、研修会、講演会に参加し、4年間でCPD(CPDS)8単位以上習得

活動の申請は道守ポータル内の個人ページから自己申請です。確認もできます。

活動申請マニュアル ⇒ <https://michimori.net/man.html>

- 活動申請4件が完了されれば【条件1】は満たされますが、個人や職場の都合で活動申請ができなかった場合は、活動申請に代わる【条件2】の技術レポートの提出で代替することになります。この場合の執筆要項と書式は資料1のとおりです。

締め切りの11月まで時間がありますが、活動の未申請がある認定者はすみやかに活動申請してください。道守ポータルは各個人での入力しか受け付けていません。

【条件2】指定した課題に対する調査研究報告書の提出

- 【条件2】は調査研究報告書の提出です。認定証の資格の専門分野（鋼構造・コンクリート構造）の技術的調査研究報告書を作成してください。作成様式は指定です。詳しくは、資料2の執筆要項をご覧ください。

2. 「更新手数料」及び「資格認定証発行までのスケジュール」

2018年度から講座と資格の継続にあたり、養成講座の受講料・資格認定証交付手数料、認定者の資格認定証更新手数料を徴収しております。2022年度より更新手数料は 5,000円 です。

- 更新手数料振込の案内：2023年2月上旬に郵送。
- 振込確認後、資格認定証を発行：2023年4月上旬に郵送。

3. 受領確認について

更新の案内をハガキとメールでお届けします。勤務先の退職、職場内の異動、職場のメールアドレスの変更、現場配属等により届いていないケースがありますので所在確認等をお願いします。

確認のため、更新の案内メールに受領の返信をお願いします。

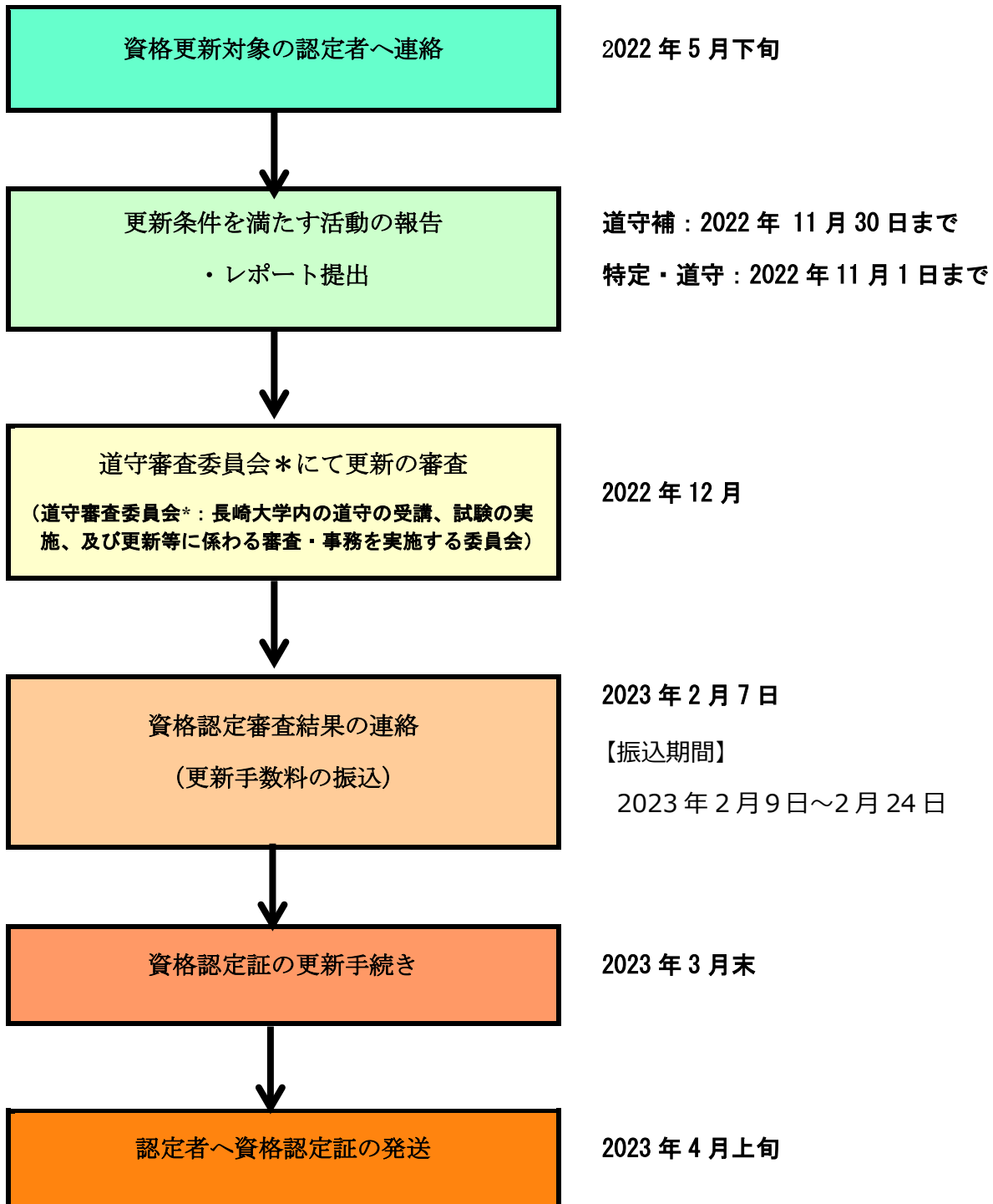
案内受領確認締め切り：6月1日(水) とします。

活動申請やレポート、報告書の提出は締切厳守でお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、
インフラ長寿命化センターまでお問い合わせ下さい。

長崎大学大学院工学研究科
インフラ長寿命化センター 道守養成講座事務局
〒852-8521 長崎市文教町 1-14
TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879
Email michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

道守資格の更新手続きの流れ (2022年度更新対象者用)



※更新条件を満たして審査を通過しても、更新手数料(5,000円)が未納ですと資格認定証は発行できませんので、ご注意ください。

※資格認定証の再発行は有料(2,000円)です。

「更新」のための【条件 1】の活動申請に代わる技術レポート執筆要項 (2022 年度)

1. 内容と留意事項

【条件 1】の活動申請に関わる活動ができなかった場合は技術レポートを提出することで代替できる。

- (1) インフラ維持管理として相応しいと考えられる経験等を記述すること。活動等の時期は認定もしくは更新後に実施した内容とする。

※図や写真を用い、できるだけわかり易く記述すること。

※記述にあたっては守秘義務、著作権に十分配慮すること。

- (2) 以下のいずれかについて記述すること。

1) 居住地周辺等で見かけるインフラ構造物の目視の調査の技術レポート

2) 維持管理に関する技術講習会等の参加の技術レポート

3) 維持管理に関する技術論文等の文献調査の技術レポート

※1)については、見つけた技術的課題とその考察を記載すること。

※2)、3)については、内容に加えて、自分の意見・考察を入れること。

2. 原稿の書式

原稿の書式は自由形式であるが、1枚目の表紙を付け、内容をA4用紙2枚にまとめ、頁を記入。

提出時はPDFファイルとし、メールで提出可。

見本をつけています。参考に！

3. 提出期限

2022年11月1日(火) 必着

4. その他

技術レポートの作成に際し、他人の著作物等やWEB上の情報等から引用・転載・参照したにもかかわらず出典を明示すること無く提出する行為や、他人が作成したものを自分が作成したものとして提出する等の不正行為が認められた場合は、審査によりその認定を取り消す場合があります。

<レポート提出・問い合わせ先>

長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL:095-819-2880 FAX:095-819-2879 Email:michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

【条件 1】の活動申請に代わる技術レポート用紙

(1枚目表紙・必須記入)

氏名	
認定番号	
会社名	
電話番号	
メールアドレス	
題目	
選択した記述内容 の番号に○を記入	<ol style="list-style-type: none">1) 居住地周辺等で見かけるインフラ構造物の目視の調査の技術レポート2) 維持管理に関する技術講習会等の参加の技術レポート3) 維持管理に関する技術論文等の文献調査の技術レポート

【条件 1】の活動申請に代わる技術レポート用紙

(2枚目・自由記入)

報告内容を自由形式(A4用紙2枚以内)でまとめて下さい。本フォーマットへの記入でなくとも可です。

C10・C14・C18、D10・D14・D18 から
認定番号が始まる認定者各位

長崎大学大学院工学研究科
インフラ長寿命化センター
センター長 松田 浩

道守・特定道守コース認定更新のための調査研究報告書の提出について

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2010年度、2014年度、2018年度認定者の方につきましては、2023年3月31日に有効期限がきます。道守・特定道守コース認定者の更新条件は、【条件1】「通報等の活動を4年間に4回以上申請すること」および【条件2】「指定した課題に対する調査研究報告書の提出」となっております。

【条件2】の調査研究報告書をご案内いたしますので、作成後、提出をお願いいたします。調査研究報告書は専門分野（鋼構造・コンクリート構造）につき1部となっております。道守コースおよび特定道守の両コース認定をお持ちの方はそれぞれご提出ください（表1参照）。

執筆要項は次頁を確認ください。

締め切りは2022年11月1日(火)です。

敬具

表1 提出する調査研究報告書の別

	コンクリート構造分野 に関する調査研究報告書	鋼構造分野 に関する調査研究報告書
道守コース認定者	○	○
特定道守コース認定者 (コンクリート構造・鋼構造)	○	○
特定道守コース認定者 (鋼構造)	—	○
特定道守コース認定者 (コンクリート構造)	○	—

道守・特定道守

「更新」のための【条件 2】調査研究報告書執筆要項（2022 年度）

1. 内容と留意事項

それぞれの分野（コンクリート構造、鋼構造）における調査研究報告書を提出すること。

原則として（1）の業務もしくは工事（以下業務等）経験の中で、維持管理に関わる部分の考察について報告書を提出してください。 適当な業務等に携わる機会が得られなかった者においては、（2）を選択できます。

- (1) インフラ維持管理業務として相応しいと考えられる経験等を①～④について具体的に記述すること。業務等の経験の時期は認定もしくは更新後に実施した内容とする。

①業務等名 ②業務期間 ③業務等内容 ④技術的課題とその考察

※報告する業務等の経験については、「まえがき」等に執筆者個人で行った業務等か、グループで行った業務等かを明記すること。後者の場合には、できるだけ執筆者が中心となって行った業務等について記述することとする。

※報告書には図や写真を用い、できるだけわかり易く記述すること。

※記述にあたっては守秘義務、著作権に十分配慮すること。

- (2) インフラ維持管理業務がない場合には、以下のいずれかについて記述すること。

- 1) 居住地周辺等で見かける専門分野のインフラ構造物の目視調査報告
- 2) 維持管理に関する専門分野の技術講習会等の参加報告
- 3) 維持管理に関する専門分野の技術論文等の文献調査報告

※1)については、専門分野の技術的課題とその考察を記載すること。

※2)、3)については、内容に加えて、自分の意見・考察を入れること。

2. 原稿の書式

原稿の書式は自由形式であるが、1枚目の表紙を付け、内容をA4用紙2枚にまとめ、頁を記入。提出時はPDFファイルとし、メールで提出可。

見本をつけています。参考に！

3. 提出期限

2022年11月1日（火）必着

4. その他

- ①報告書の作成に際して、国および自治体の業務等に関係したインフラ構造物を使用する場合には管理者に使用の了解を得てください。
- ②報告書の作成に際し、他人の著作物等やWEB上の情報等から引用・転載・参照したにもかかわらず出典を明示すること無く提出する行為や、他人が作成したものを自分が作成したものとして提出する等の不正行為が認められた場合は、審査によりその認定を取り消す場合があります。

<レポート提出・お問い合わせ先>

長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14

TEL:095-819-2880 FAX:095-819-2879 Email:michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

【条件2】調査研究報告書用紙

(1枚目表紙・必須記入)

氏名		
認定番号		
会社名		
電話番号		
メールアドレス		
※以下、選択した内容(いずれか1つ)に○印を記入してください(分野別作成)。		
内 容	コンクリート 構造分野	鋼構造 分野
(1) インフラ維持管理業務として相応しいと考えられる業務経験 題目: <input type="text"/>		
(1) の業務経験がないときはこの内容でお書きください。 (2) 以下のいずれかの内容による報告の記述(1つ選択してください) 1) 居住地周辺などで見かけるインフラ構造物の目視調査報告 2) 維持管理に関する技術講習会等の参加報告 3) 維持管理に関する技術論文等の文献調査報告		

※執筆要領を確認して、選択してください。コンクリート構造分野と鋼構造分野の2つの分野の資格をお持ちの場合は調査研究報告書が2部必要です。

道守・特定道守
【条件 2】調査研究報告書
(2枚目・自由記入)

報告内容を自由形式(A4用紙2枚以内)でまとめて下さい。本フォーマットへの記入でなくとも可です。